

卒業証書になる海老根和紙をすく6年生



伝統の和紙で 卒業証書を

郡山・海老根小児童

指導受け体験学習

郡山市中田町の海老根小児童は十一月二十四日から三十日にかけて海老根和紙すきを体験した。六年生は自分ですいた和紙が卒業証書になるため、緊張して作業に臨んだ。

寒くなる十一月下旬から十二月上旬にかけて毎年実施している。総計が二十四日、三、四年生が二十九日、一、二

年生が三十日に行った。海老根和紙保存会から宗像康会長はじめ熊田七郎さん、熊田さち子さんが参加し指導役となった。六年生は六回目とあって慣れた様子だったが、今回は自分の卒業証書になるため特別な思いを込めて仕上

げた。初めての一年生も丁寧な指導を受け難しい作業に挑戦した。

和紙は乾かした後、学校に届けられる。一年生から五年生は自分のすいた和紙で、うちわやペン立てを作る。同校の児童は和紙に使うトロアオイの種まきから除草、収穫、原料の楮(こうぞ)の収穫と海老根和紙すきに向けさまざまな取り組みを行ってきた。